

石内社協だより

第45号
編集・発行
石内地区社会
福祉協議会

石内の人口
ピラミッド

進む少子高齢化 将来に不安

令和7年12月1日

石内地区（杜の街を除く）の年齢別人口を男女別に表した「人口ピラミッド」を作成しました（2025年3月末現在＝住民基本台帳）。グラフを見ると、下の若い世代よりも上の高齢世代の人数が多い“逆ピラミッド型”。65歳以上の高齢化率は36.6%で、広島市平均（26.6%）を大きく上回っています。少子高齢化が顕著に進んでいて、将来への備えが必要な状況がはっきりと見て取れます。

人口ピラミッドは、76～78歳の第一次ベビーブーム世代が最も多く、49～52歳の第二次ベビーブーム世代にも小さな山があります。これに対し、20～39歳の若年・壮年層は各年齢20人未満が多く、0～14歳の子どもも10人台が中心です。0～39歳の層は高齢者層の半分以上にとどまっています。

これから10年も経つと、現在の70代後半が80代半ばを迎えます。介護や見守りが必要な一人暮らし高齢者が大幅に増加し、地域での支え合いがこれまで以上に求められます。医療・介護体制の確保も大きな課題となりそうです。

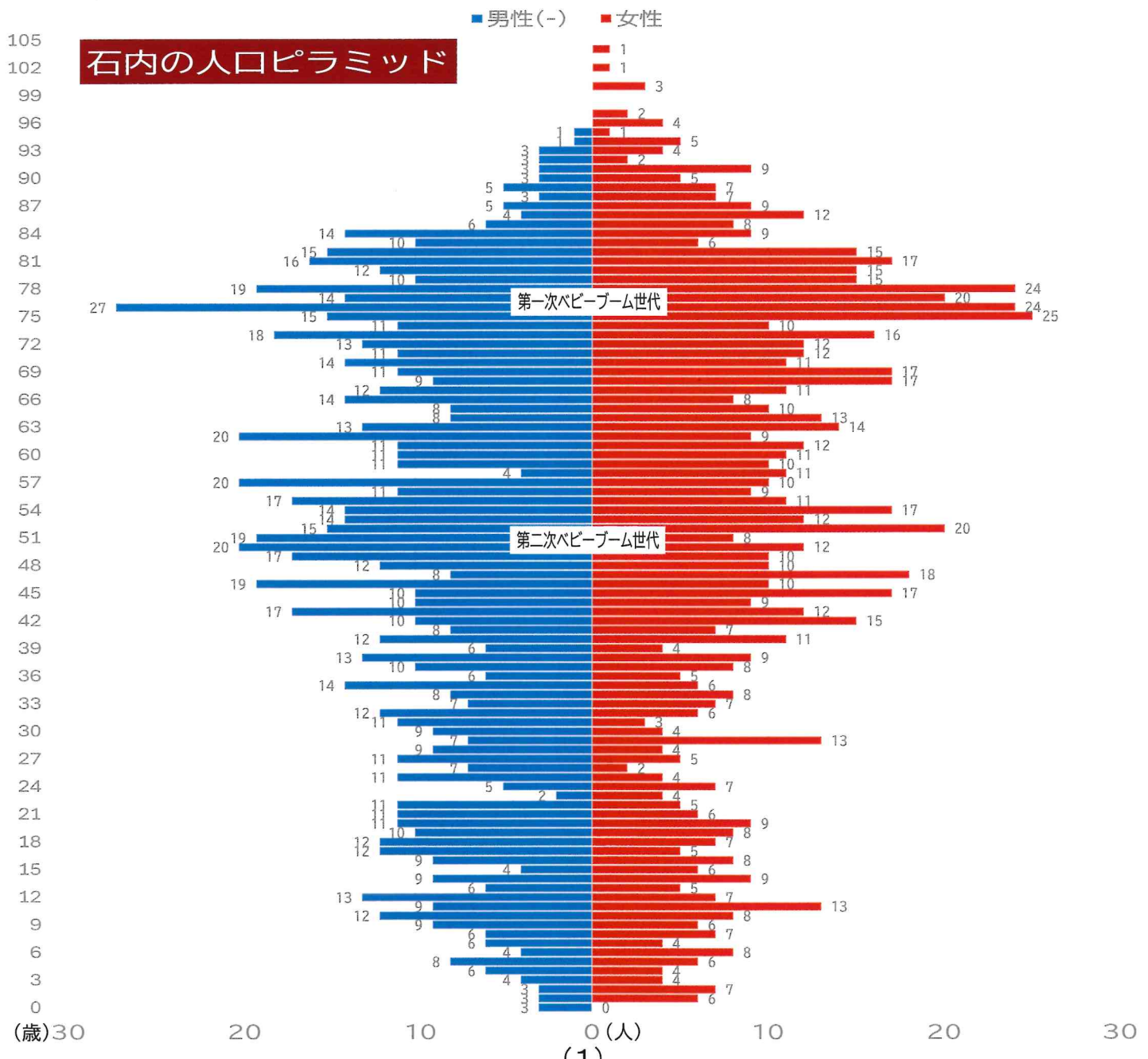
生産年齢人口（20～64歳）は年々減少、町内会や消防

団など地域活動の担い手不足が一段と深刻になりそうです。防災や清掃活動、祭りなど地域行事も継続が困難になり、地域コミュニティが機能停止に陥る懸念もあります。少ない人員でも無理なく関われる仕組みづくりが必要になります。農地や山林の荒廃も進みそうに対処を迫られます。

石内小学校の児童数は現在141人ですが、今後2～3年で100人を切る見通しです。2000年の最少人数（98人）に再び近づいています。次代を担う子どもたちが減ってゆくことも、石内の大きな課題です。

このままでは、現在約1900人の人口も15年後の2040年ごろには1600人程度に減少すると予測されます。

人口ピラミッドは、石内地区の今とこれからを映す“地域の鏡”です。少子高齢化の厳しい現況を知っていただくためにグラフを掲載しました。「そうはいってもどうしようもなかろう」ではなく、「どうしたらいいのか」「どう支え合っていくか」を、みんなで話し合うきっかけにしていきたい。高齢者対策と同時に、少子化対策や若年層の定住化促進など地域ぐるみでの工夫が求められています。（六拾部）



石内社協だより

石内地区敬老会・芸能発表会（実行委員会主催）は9月15日午前9時半から、石内福祉センターで開かれました。石内地区（杜の街を除く）の75歳以上の101人が出席。式典では広島市長からの祝辞のほか石内小学校の2年生2人が高齢者へのお祝いと心のこもった感謝の言葉を読み上げ、会場を和ませました。芸能発表会では公民館で活動するオカリナや大正琴、石内ストレッチクラブなど6グループと日本舞踊の個人出演者が日ごろの練習成果を披露。幕間には全員で「ちょこっと体操」を行い、最後は石内ストレッチクラブによるダンス「ふるさと それゆけカープ」で大いに盛り上がりしました。三和地域包括支援センター長の佐藤智之さんによるミニ講座「健康寿命を延ばそう」もあり、健康づくりのポイントを学びました。



新型コロナ感染防止のため、マスク着用で芸能発表を楽しむ出席者



柔らかく温かな音色で出席者を魅了した石内オカリナグループ



お祝いと感謝の作文を読み上げる新宅麟さん（石内小2年）
⑥と小井出帆乃花さん（同）



石内神楽団の「きつね舞」。子どもたちの熱演に大きな拍手がおくられた



真っ赤なユニホームでパワフルなダンス「ふるさとそれゆけカープ」を披露する石内ストレッチクラブの皆さん

(2)

石内地区敬老会・芸能発表会

集い 楽しく

お礼
開催にあたりご協力いただきました実行委員会委員の皆さまをはじめ多くの方々に感謝とお礼を申し上げます。

石内地区盆踊り大会

石内地区盆踊り大会（実行委員会主催）が8月13日午後7時から石内小学校グラウンドで開催されました。恒例の「広島音頭」「きよしのズンドコ節」「帰村音頭」「さくら音頭」に今年は新たに「どらえもん音頭」も加わり、幅広い年代が一緒になって、踊りの輪が広がりました。会場には女性会、石内南2丁目子ども会、石内バレーボールクラブ、有志の会など6団体によるバザー店が出品。ジュースやビール、酎ハイ、焼き鳥、イカ焼き、肉巻きおにぎり、フランクフルトなど多彩な飲食物が並び、にぎわいました。モンスターヨーヨーなど光るおもちゃ、くじ引きおもちゃの店、せんべいに絵や文字を描く落書きせんべいのコーナーなども人気で、子どもたちはお盆の夜を存分に楽しんでいました。



浴衣姿の子どもたちも加わって踊りの輪が広がった



せんべいにシロップで絵や文字を描き、色砂糖を振りかけてオリジナルせんべいを作る店は子どもたちで大にぎわい



熱いコンロの前で、汗だくで焼き鳥を焼く有志の会のメンバー



JA 広島市三和支店の射的の店では、子どもたちが列を作り賞品がなくなるほどだった



「何かいいもの当たるかな?」。お楽しみ抽選会では読み上げられる当選番号にみんな一喜一憂

(3)

10月の献血 21人が協力

石内地区の集団献血が10月22日（日）午前9時から11時半まで、サコダ車輛钣金館で行われました。30人が訪れ、体重不足や薬の服用などで採血できない方もありましたが、21人が献血されました。ご協力ありがとうございました。

石内地区での献血は毎年度10月と2月に実施しています。少子高齢化の進行もあって、来場者、採血者は10年前に比べ2～3割減っています（グラフ）。サコダ車輛の社員の皆さんの積極的協力のおかげで、この程度の減少でとどまっているのが現状です。

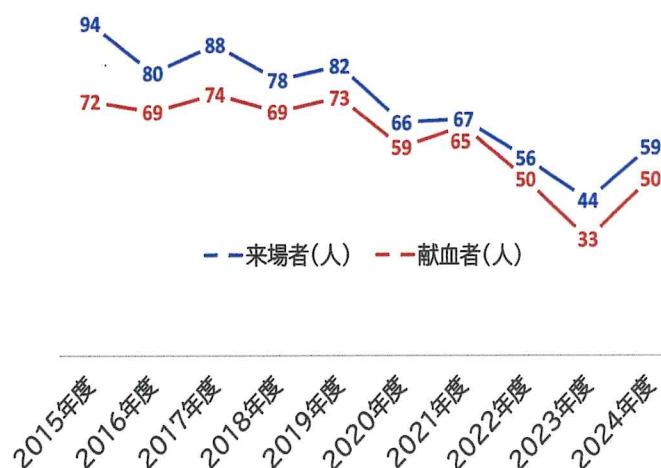
今回は来年2月18日に石内公民館で、午後1時30分から4時まで実施予定です。ご協力よろしくお願いいたします。

車いす貸し出しできます

石内地区社会福祉協議会では、無料で貸し出しできる車いすを2台用意しています。長期貸し出しも可能です。ご希望があれば、ご相談ください。問い合わせ先：携帯＝090-9068-8899（六拾部）



献血の来場者、採血者数の年度別推移



あたたかいご寄付いただきました

大形則義様（平岩町内会）から母マサコ様の香典返しの一部として30,000円のご寄付をいただきました（令和7年10月26日）。

浄財は地域福祉のために有意義に活用させていただきます。

いきいきサロンに参加しませんか

日 程	内 容	講 師	場 所
12月 25日(木) 13:30～15:00	お口から元気に	(株)明治	石内公民館
1月 22日(木) 13:30～15:00	お楽しみ会	手品師 反田哲顕さん	新宮山荘
2月 26日(木) 13:30～15:00	介護予防体操	デイサービスセンター 石内慈光園	石内公民館
3月 26日(木) 13:30～15:00	「これから」について考えよう ～ACP 人生会議～	三和地域包括支援センター	新宮山荘

対象＝おおむね 65 歳以上の方 定員＝20 人程度。参加費＝無料。申し込み・問い合わせ＝石内公民館（Tel 941-0120）・三和地域包括支援センター（Tel 926-0025）。主催：石内地区社会福祉協議会・三和地域包括支援センター・石内公民館 ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合もあります。

編集後記

高齢者になると「キョウイク」と「キョウヨウ」が大切だと言われます。といっても、これは「教育」と「教養」のことではありません。「今日行く」と「今日用」のこと。つまり、今日どこかへ行く予定があり、今日何かをする用事がある、ということです。人と会って世間話をする、外の空気に触れて季節を感じる、少し歩いて体を動かすことで、心も体も元気になります。「今日はあそこへ行こう」「今日は誰々に会おう」と思えるだけで、一日が明るくなります。特別なことをしなくても、近所への買い物や散歩でも立派な“キョウイク”と“キョウヨウ”です。日々、小さくても目的を持ち、「今日行く」と「今日用」のある生活を楽しみたいものです。（〇）